国際交流イベント「SPORTS DAY」」報告

6 月 8 日(日)(13 時 30 分から 16 時)　KOCA は、京都府南部の精華町と、国際交流のボランティア団体せいかグローバルネットと共催で、国際交流イベント「第 5 回 Sports Day」を開催しました。参加者は 67 人(外国籍の方は 13 人)ボランティアスタッフは 14 人でした。

当日は、子どもから大人まで、多くの参加者が集まり、年齢や国籍や言葉の壁を越え、自然と助け合いながら協力して、心からスポーツを楽しむ姿が見られました。

初めは、まず、けがをしないようにラジオ体操を、木津南中チャレンジ部の生徒のリードで始めました。外国人には、とても珍しいようで、びっくりしている人がいて、そのびっくりしている外国人を見て、びっくりしている日本人がいました。（アンケートより）

プログラム 2 番は、「よさこいソーラン」で、1 回目は木津南中学チャレンジ部による力強い踊りを披露し、2 回目は参加者全員で踊りました。外国の方にも赤い法被を着て踊っていただきました。

プログラム 3 番は、ベトナムのじゃんけん大会（ワォントゥスィ)。ベトナムの方とじゃんけんを 3 回して、勝った人 3 人には、ベトナム製のグッズを賞品として提供してくださいました。ベトナムのじゃんけんは、4 種類あり、人差し指 1 本の「井戸」と、他の 3 種類との勝ち負けのルールが複雑でしたが、賞品をゲットしようと、みな真剣に取り組んでいました。その後、他の外国人にも自国のじゃんけんを紹介してもらいました。ところが、シリアには、じゃんけんがないそうで、これには、参加者全員が驚いていました。

プログラム 4 番は、ベトナムのゲーム (タットロン)を、アレンジしたゲームで、サークルの中の玉を靴を投げて、外に出すゲームです。ルールは単純ですが、大人でも、難易度は高いゲームでした。

プログラム 5 番のお箸リレーと、プログラム 6 番の追っかけ玉入れは、木津南中学校チャレンジ部が中心になり、ルール説明を、日本語と英語でしたり、ゲーム中の実況放送もしていました。マシュマロを箸で挟んでのリレーです。挟むのが簡単だったのでよかったという人、豆のように挟むのがもっと難しいほうがいい人、感想はいろいろありましたが、外国人が、上手に箸を使う様子には、多くの方々が感心していました。

追っかけ玉入れは、逃げる相手チームの籠を追っかけて玉を入れます。玉の多く入ったほうが負けです。玉の個数がそのまま相手側の点数に入るので、大逆転の可能性があるため、みなさん、全力疾走で、がんばっていました。

最後は、ベトナムとアメリカのダンスを教えてもらいました。それぞれの国の伝統的な音楽とダンスで、会場全体が、笑顔と歓声に包まれました。

参加者からは、一体感を味わえてよかった。楽しかったので、家でも練習したい。最後にいい思い出ができてよかった。いろいろな国の人たちとの交流が楽しかった。みんなあきらめずに一生懸命頑張っていた。素敵な休日になった。ゆるい感じが参加しやすかった。普段見られない子どもの積極的な姿に感動した。異文化交流の大切さを肌で感じた。参加者の中には、今年が 2 回目や 3 回目という方もおられ、また参加したいなどの、感想も多くいただきました。参加者の満足度は非常に高かったことがうかがえます。

また、運営サイドにおいても、準備段階から当日の運営まで、多くの青年海外協力隊経験者や地域の支援者が連携したり、JICA 関西の協力により、他府県から参加された留学生がいたりと、まさに「共創の場」となりました。スポーツを通じて築かれる信頼と友情の力を、改めて実感できる一日となりました。

今回のスポーツデーの成果を踏まえ、今後はさらに地域内外のネットワークを強化し、関係団体を増やし、多文化共生を体験的に学べる機会を継続して創出していきたいと考えています。(会場には、JICA海外協力隊のポスターを貼らせてもらいました。)

特に、青年海外協力隊 OB・OG の皆様と連携し、次世代の青少年に対して国際協力や異文化理解の意義を伝える活動へと発展させることが期待されます。今回得られた知見とつながりを、今後の活動に活かしてまいります。